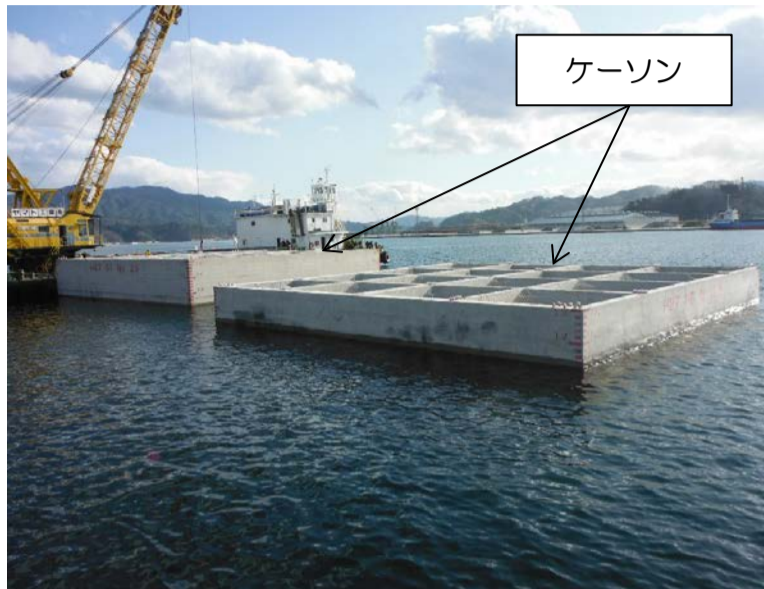


◇ 防波堤築造の流れ ◇

※写真は、当社の東北支店で過去に行った防波堤築造工事で撮影したものです。

1. ケーソン製作

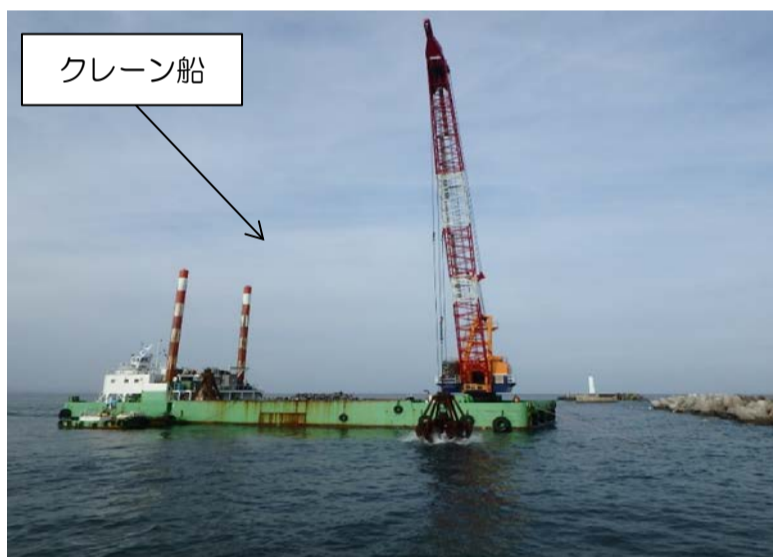
防波堤として設置するケーソンは、本工事に先立ち製作・支給されたものを使用します。
なお、本工事で使用するケーソンは、20m×15.8m×15.7mが1函、20m×12.2m×15.7mが3函のあわせて4函です。
写真はケーソンが海中へ沈んでいる状態です。



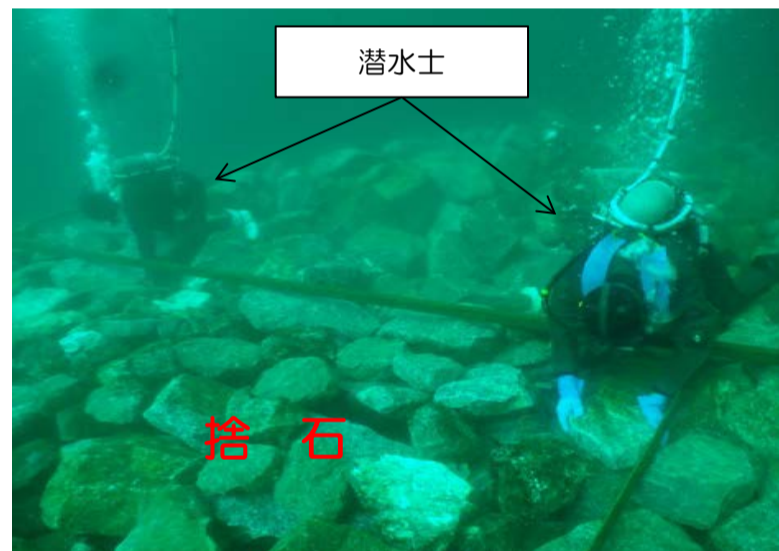
ケーソン仮置状況

2. 均し作業

ケーソンを据え付けるマウンドを築堤します。マウンドは主に捨石(割栗石)を使用して築堤します。
捨石をクレーン船にて投入後、潜水士にてマウンドの本均し・荒均しを行います。



捨石投入状況



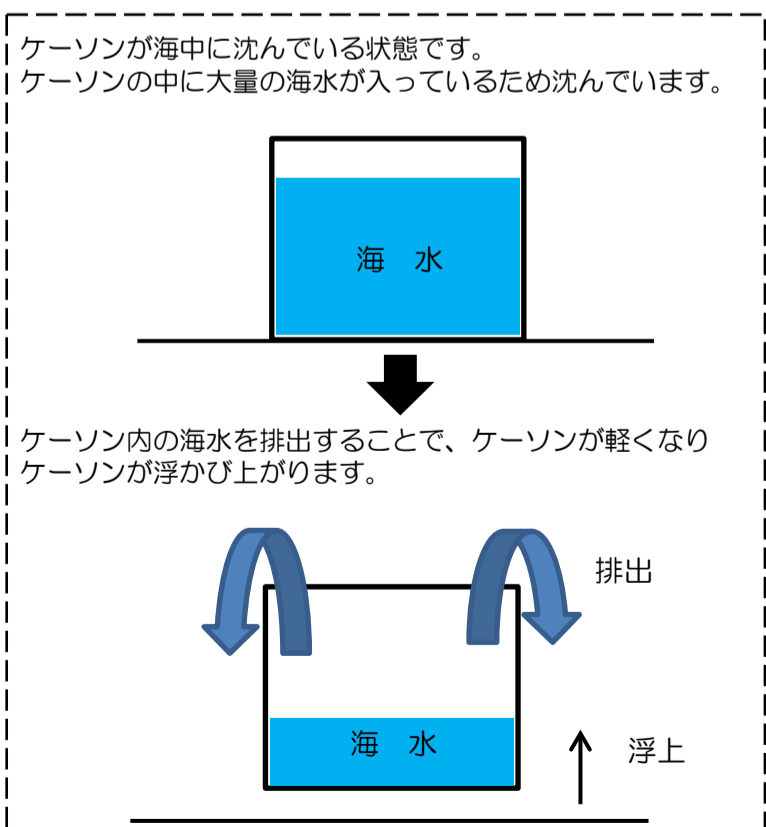
マウンド均し状況

3. ケーソン海上運搬

ケーソンを海上に浮かばせ、引船にてケーソンをワイヤーロープで引っ張りながら海上運搬します。



ケーソン海上運搬状況



4. ケーソン据付

ケーソンを所定の場所に据え付けます。
据付の際は、浮かんでいるケーソンを所定の位置に移動させた後、水中ポンプを使用して海水をケーソン内に入れ、ケーソンを沈めていき、マウンド上へ着底させます。



ケーソン据付状況

5. 中詰材投入

ケーソン据付後、クレーン船にて中詰材(石材・砂等)を投入し、ケーソンが波の影響で動かないよう、ケーソンを重たくします。



中詰材投入状況

6. 蓋コンクリート打設

中詰材の投入が終わった後、コンクリートでケーソンに蓋をします。



コンクリート打設状況